

二〇二四年度法科大学院入学試験問題

小論文

注意事項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙は一枚配付します。
- III 解答にあたっては、黒インクのボールペンまたは万年筆のいずれかを使用してください（ただし、インクがプラスチック製消しゴムで消せないものに限ります）。それ以外で解答用紙に記入した場合は、無効とします。また、解答用紙欄外へ記入されているものは採点の対象としません。
- IV 解答を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、一行の場合には横線で消して、その次のマス目から書き直してください（余白には書かないで下さい）。修正液・修正テープを使用してはいけません。
- V 解答は横書きで記入してください。
- VI 試験時間は六〇分です。
- VII 問題は九ページで一問です。

問題 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作物の関係上、本文については、ホームページでの公開を行っておりません。

〔林 陽子「世界 2023年4月号

世界の女性の憲法女性差別撤廃条約がめざすもの〕(岩波書店)より〕

〔問〕 問題文を読んで、女性の様々な権利を保障し実現するためには、今後、どのような法制度・法政策を展開すべきか、あなたの意見を八〇〇字以内で述べなさい。